

## 株式会社ウェザーニューズ 第38期定時株主総会での主な質疑応答

2024年8月17日

### Q1 社長交代について。草開さんの社長時代の成果と引き継ぎたいこと。石橋さんの今後の抱負。社外取締役からの評価。

A1

(草開) 社長としての18年間を通じて全員がリーダーとなり全員で引っ張っていくことをテーマに尽力してきました。結果として多くの優秀なリーダーが育ったことが大きな成果だと考えております。気象サービスは日本のみならず世界に展開できる余地があるため、さらなる飛躍に向けて今までと違った役割でサポートして参ります。

(石橋) 草開さんにはウェザーニューズのベースを作ってくださいました。昨今かつてないほど世界的な気象・気候市場の盛り上がりを見せている中、AI活用によりサービスをスケールできるタイミングでもあり、今後飛躍させていく部分が私の使命だと考えております。

(秋元) 一年半の間、指名委員会の中で中長期のビジョンを実現する体制を目指すことを基本スタンスとし、半数の社外取締役が主体的に関与する形で議論を重ねて参りました。第二創業期をスケールさせるための良い体制が出来たと考えております。

### Q2 現状の株価についての見解。株価を上げるための施策（株式分割・配当など）

A2 市場の流れに影響される部分もありますが、まずはウェザーニューズ自身の企業価値を高めていくべきと考えております。価値創造を通じて中長期的に企業価値を高めていきたいと考えております。

株主還元についても重要なテーマと認識しております。また、配当政策は継続的に安定して行うことが重要と考えております。以前はコロナ禍等により株式市場が不安定な状況もあり慎重に見ておりましたが、現在は特殊な要因は無くなっており、株式分割を含め検討を開始しております。

### Q3 個人投資家向けのIRにもっと注力してもよいのでは。

A3 IRとして個人投資家向けにも力を入れていきます。今回初めて統合報告書をリリースしました。日本のみならずグローバルにも伝わるように日本語版と英語版を発行しております。今後も更に充実した情報提供ができるよう努めて参ります。

#### **Q4 世界的大手IT企業との連携について**

A4 昨今は大手IT企業も各国の規制対応に苦戦していると感じています。世界的な企業であっても一つひとつの国や地域と向き合いコミュニケーションする必要があり、そこを一緒に作り上げていくことが求められています。

AI技術についてはモデルの汎用化が進んでいる印象です。ウェザーリポートによる解析データには大きな価値があると考えていますが、もしかするとデータが無くても機械学習できる段階が来るかもしれません。最終的にウェザーニュースが差別化できる部分はコピーすることのできないコミュニティの力だと思っています。コミュニティを育て、一緒にコンテンツを作り上げていく姿勢はこれからも大切にしたいと考えております。

#### **Q5 オープンリソースを活用する事によるセキュリティリスクについて**

A5 セキュリティに関する内容のため具体的な言及は避けませんが、しっかり投資をしていきます。最終的にはスタッフ一人ひとりの意識が非常に重要であり、全社での教育にも引き続き力をいれていきたいと考えております。

#### **Q6 純利益が伸びていない理由と今後の施策**

A6 テクノロジーによりノウハウをシステム化し、更に多くのお客様をサポートしていくことが重要だと考えています。ウェザーニュースでは約半数が運営スタッフですが、AIへ置き換えるのではなくカスタマーサクセスとしてお客様と向き合い、課題を解決していきます。予測作成・アラートはシステムで行います。中期経営計画の最初の3年はこのような体制構築に向けてしっかりと土台を固めていきたいと考えております。

#### **Q7 予報精度No.1について。もう少し精度が上がってから宣言したほうがいいのでは。**

A7 予報精度No.1については外部機関の評価を得ておりますが、（ご質問の意図は）予報の内容が随時変化することについてのご指摘と理解しています。アプリには常に最新の予報を出していますが、その変化についても分析をしています。雨雲の際など微妙なところが理由ではありますが、表示方法の工夫でもユーザー側のストレスは軽減できると考えており、しっかりとベースを上げていきたいと考えております。

**Q8 ウェザーニュースProのニーズ・戦略について**

A8 リリースしてからはご好評いただいているように感じています。仕事の用途ではあるがまずは自身のお金で試用するという方もいらっしゃるのではと推測しています。個人ユーザーから企業、そしてインフラ企業へと段階的にプロダクトを展開していく中で、ウェザーニュースProの利用者が企業へ導入を促す形で浸透していけるよう中長期的にアプローチを図ってまいります。

**Q9 海外展開におけるウェザーニュースの強みと戦略**

A9 気象サービスの「型」を日本で作り上げていくことが重要だと考えており、M&Aも含めた必要な投資を検討してまいります。グローバル展開は私たちの使命であり、中長期的に着実に取り組んでいきたいと考えております。

**Q10 急な予報アイコン変化に対する表現の仕方の工夫（ブレ幅等）について**

A10 貴重なご意見として受け止めます。予報精度については株主総会後の株主サポーターミーティングにてぜひお話ができればと考えております。

**Q11 ITイベントなど登壇して話す機会などを積極的に設けてはどうか**

A11 すでにいくつかのIT企業のウェブページなどに掲載いただいておりますが、ウェザーニュースのIT企業としての知名度向上のために、積極的に検討していきたいと考えております。